

米国の大学と 連携して講義 HBMSと叡啓大



HBMSと叡啓大が、スタン
フォード大SPICEと連携
して開いたオンライン講義
の様子 (叡啓大)

県立広島大学院経営管
理研究科(HBMS)と叡
啓大(中区)は5日、米ス
タンフォード大SPICE
(国際相互文化教育プログ
ラム)と連携した連続オン
ライン講義を始めた。HB
MSの社会人学生と叡啓大
の学部生約20人が自宅など
から参加。今月末まで計4
回、SDGs(持続可能な
開発目標)に関連したビジ
ネスプランを考える。

初回はスタンフォード大
経営大学院に留学中で、宇
部市出身の産婦人科医、中
安杏奈さん(28)が、「医療
システムのサステナビリテ
ィ(持続可能性)」をテー
マに講義。「オンライン診
療や人工知能(AI)の問
診が進めば、医師の確保や
働き方改革にもつながる」
と指摘した。

続いて参加者は4組に分
かれ、今後練っていくプラ
ンのテーマを話し合った。

叡啓大1年の鍵山実玖さん
(19)は「発展途上国の教育
支援に興味がある。何が本
当の支援になるのかという
視点でビジネスの可能性を
考えたい」と話した。

(加納亜弥)